

「山梨中銀SDGsファンド」による投資案件を紹介します  
～オフィス向けクラウド CTI※を開発・販売する企業への投資～

「山梨中銀 SDGs ファンド」（正式名称：山梨中銀 SDGs 投資事業有限責任組合。以下「当ファンド」といいます。無限責任組合員：山梨中銀経営コンサルティング株式会社）は、株式会社シンカ（東京都新宿区、代表取締役 江尻 高宏）に対する投資を行いましたので、お知らせいたします。

なお、本投資は当ファンドの第2号案件となります。

1. 投資内容

- (1) 投資日 2020年12月25日
- (2) 投資形態 第三者割当増資の引受

2. 株式会社シンカの概要

- (1) 設立年月 2014年1月
- (2) 資本金 1,377,986千円（資本準備金を含む）
- (3) 所在地 東京都新宿区西新宿2丁目6-1 新宿住友ビル 37F
- (4) 代表者 江尻 高宏
- (5) 事業内容 ITを活用したシステム企画・開発及び運用  
クラウドサービス商品の企画・開発及び販売、運用  
ITサービス利用のコンサルティング

株式会社シンカ（以下、「同社」といいます。）は顧客接点クラウド「カイクラ」を開発・販売しているベンチャー企業です。

「カイクラ」は、クラウド型のコミュニケーション管理ツールであり、CTIや通話録音、ショートメッセージ、はがきDM、ビデオ通話など、顧客コミュニケーションを一元管理する機能を有しています。異なるコミュニケーション手段を用いても顧客ごとにコミュニケーション履歴情報を一元管理できるため、担当者以外でもこれまでの経緯を把握した上で顧客対応することが可能になります。また、「カイクラ」を利用することで、自宅でもオフィスの電話にチームで対応することが可能となり、テレワーク時の顧客コミュニケーションをサポートします。

「カイクラ」は2014年8月のサービス開始以来、導入100業種・業態以上、1,600社・2,600拠点以上で利用されています。

※CTI：Computer Telephony Integrationの略。コンピュータと電話を統合して利用する技術であり、電話の着信時に相手の情報をパソコンやタブレット端末に表示すること等ができる。

当ファンドは、「SDGs の 17 の目標」に準じた企業価値向上および競争力強化に向けた取組みを行う事業者を支援し、地域社会の持続的発展につなげることを目的としております。

同社はCTIや音声テクノロジー等を活用することで中小企業に安価で顧客コミュニケーションを一元管理できるツールを提供しており、「カイクラ」はオフィスにおける電話対応業務等のDX（デジタルトランスフォーメーション）を支援するものになります。また、同社の経営者が「年齢、性別、国籍、人種、性的指向にとらわれずに、多様なひとを受け入れる社風、ビジョン」を提唱し、社内外のジェンダー平等にも積極的に取り組んでいます。

同社の提供するサービスが企業の顧客管理やCS面での課題解決につながるものであり、市場のニーズは高く、同社の今後の事業成長が期待できること、また、同社の事業内容及び社風がSDGsの目標「5.ジェンダー平等を実現しよう」や「9.産業と技術革新の基盤をつくろう」等に大きく貢献していることから、同社への投資を決定しました。

同社の第三者割当増資を引き受けることで資金面での支援を行うとともに、今後は同社の成長発展に向けて積極的に各種ハンズオン支援を行ってまいります。

#### <当ファンドについて>

当ファンドは、山梨中央銀行グループの出資により設立した投資ファンドです。地域の将来を担う事業者や「SDGs の 17 の目標」に準じた企業価値向上および競争力強化に向けた取組みを行う事業者を支援することで、地域産業力の強化や雇用の維持・拡大など、地域社会の持続的発展につなげることを目的として、起業・創業から成長、経営改善・再生、事業承継に至るまで、あらゆるライフステージにある事業者への投資を行います。

また、当ファンドは、投資先への資金供給だけでなく、山梨中央銀行グループが有する販路開拓や経営管理等の各種支援ノウハウを活用したコンサルティング・経営改善支援を併せて行うことにより、投資先の成長・発展や経営改善・事業再生等の効率的な支援を実施いたします。

以上